



学校だより

令和6年度
特別号
加古川市立別府小学校

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について（お知らせ）

錦秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、今年度4月18日に全国の小学6年生と中学3年生を対象に、「国語」「算数（数学）」の学習状況と、児童・生徒の学校や家庭での生活習慣や学習環境等についての調査が行われました。今回の調査結果は、児童の学力の限られた部分ではありますが、届いた結果をもとに、学習や生活の指導に活かせるよう、6年生全体の結果を分析・検討しましたので、分析の結果と今後の方針についてお知らせします。

1 教科に関する調査（国語・算数）について

	国 語	算 数
結 果	【概ね力がついていること】 ○情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと	【概ね力がついていること】 ○直方体の見取図について理解し、かくこと ○数量の関係を、□を用いた式に表すこと
	【課題】 ○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること ○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと	【課題】 ○道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること ○球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すこと
改 善 策	目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書く活動を多く取り入れます。文章を考えたり書いたりすることによって、思いを表現する力、筋道を立てて意見を述べる力、考えを深めていく力を伸ばします。 文章の中で新出漢字や語句を適切に使う学習に継続して取り組みます。	用語を用いて事柄の関係を適切に理解し表現することや、解法やその理由を条件に基づき、言葉や数値を用いて記述することで、思考力の充実を図ります。また、協同的探究学習の手法を取り入れることで、自分の考えを持ち、それを他者と交流しながら深める場面を意図的に設定します。

2 生活や学習の状況（児童質問紙）について

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する63の項目の質問がありました。その中で、特徴的な回答項目について以下にお示しします。

（1）学習に対する興味・関心

- 国語の勉強は好きだ・・・43.7%
- 国語の勉強は大切だ・・・98.0%
- 国語の授業の内容はよく分かる・・・85.4%
- 算数の勉強は好きだ・・・73.0%
- 算数の勉強は大切だ・・・98.0%
- 算数の授業の内容はよく分かる・・・91.7%

国語・算数ともに勉強の大切さをよく理解しているものの、国語では楽しんで勉強に取り組むまでには至っていないようです。基礎・基本の力の定着と「わかる学力」の向上を目指し、他者の様々な考え方や自己の成長を実感できる場を設定していきます。

（2）規範意識・自己有用感

- 将来の夢や目標をもっている・・・83.4%
- 人が困っているときは、進んで助けている・・・93.7%
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだ・・・98.0%
- 人の役に立つ人間になりたい・・・95.8%

「やさしい子」を目指している「べふっこ」らしさが表れる結果となりました。全ての教育活動で、夢や目標に向かって自分のよさをさらに伸ばして粘り強く取り組むことができるよう、一人ひとりが活躍できる場をより多く設定していきます。

（3）生活習慣・学習習慣

- 朝食を毎日食べている・・・91.7%
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている・・・91.7%
- 学校の授業時間以外の、普段（月曜日から金曜日）1日当たりの勉強をする時間（学習塾・家庭教師やインターネットを活用している時間も含む）
 - ・2時間以上・・・31.3%
 - ・30分より少ない・・・14.6%

学習を支える生活習慣についてはどの項目も80%近い肯定的な結果が出ています。日々のご支援、ありがとうございます。家庭学習については、1日当たり2時間以上が30%ある一方で、30分より少ない児童もありました。計画を立てて学習に取り組めるように、家庭学習の習慣づけに引き続き取り組んでいきます。

学校では基礎学力を定着させるとともに、加古川市の進める協同的探究学習を取り入れ、Chromebookを有効に活用しながら「わかる学力」の育成を目指して取り組んでいます。ご家庭と連携しながら教育活動をさらに充実させ、学力向上に取り組んでまいります。さらなるご理解とご協力をお願いいたします。